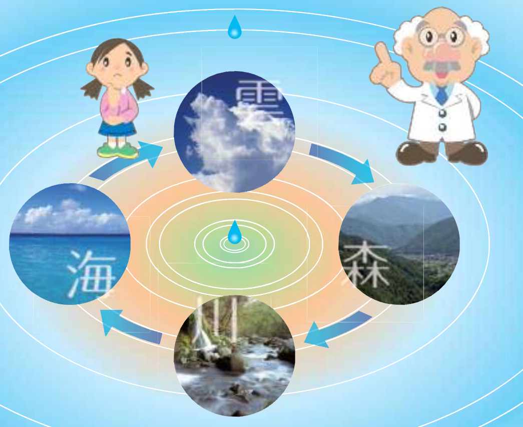
とりもどそうよ！
健全な水じゅんかん

～わたしたちのまわりの水について考えてみよう～



❶「水循環」を知っていますか？

河川などの淡水は
地球上の水の
約0.01%※2

近年に公開された資料※1を見ると世界で42億人もの人（全人口の2/3に相当）が飲料水に困っているという事実を知らされます。水は私たちにとって非常に貴重なものなのです。みなさんは水がどこからやってくるか知っていますか？

水は、雨や雪として森や畑などの地上に降り、地中にしみこみながらゆっくり川に流れ、そして、海にたどり着きます。また、川や海などの水は太陽のエネルギーにより暖められ、水蒸気となって雲になり、再び雨や雪として地上に降ります。この繰り返しを『水循環』と呼んでいます。

②の絵をみてね

蛇口をひねれば出て来る水も、近くを流れる川の水もその水循環の通り道なのです。

しかし、この水循環は、わたしたちの生活により、川や海が汚れ、川の生き物が少なくなるなど問題となっています。

③の絵をみてね

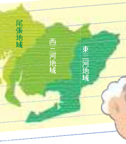
そうした問題を解決するために愛知県をはじめ水循環に関わるさまざまな機関が協力し、家庭からの汚れた水をきれいにしたり「健全な水循環をとりもどす」ため、家庭からの汚れた水をきれいにしたり、生き物が棲みやすいような川づくりなどをしたりしています。

④の絵をみてね

わたしたちにも出来ることがあります。このパンフレットを読みながら、わたしたちの生活と水循環について一緒に学び、そして考えてみましょう。

※1出典 2003年世界水フォーラム資料
※2出典 平成21年版日本の水資源（国土交通省）

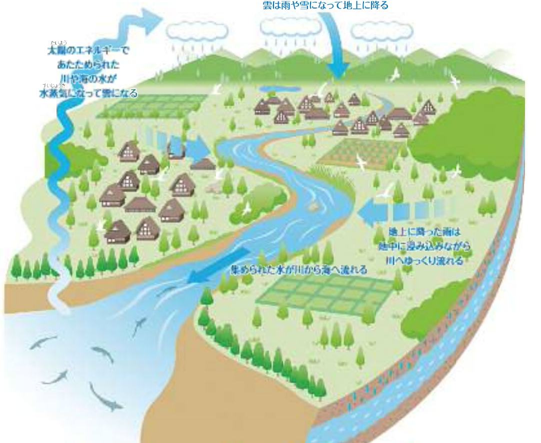
愛知県では、より良い水循環を目指すため、平成17年度に「あいち水循環再生基本構想」をつくりました。平成18年度にはこの構想を計画的に進めるため、地域の特性に応じるよう尾張・西三河・東三河の3地域に水循環再生地域協議会を立ち上げ県民や事業者、民間団体、行政が一緒になって健全な水循環づくりに取り組んでいます。



❷ 昔の水循環は…

まだ、生活で使う燃料が木だった頃、わたしたちは、山の雑木を切ったり、川で洗濯をしていました。

住んでいる人が少ないため、自然の力で水がきれいになり、川には生き物がたくさん棲み、子ども達は川で遊ぶなど、水は私たちに多くの恵みをもたらしてきました。


雲は雨や雪になって地上に降る
太陽のエネルギーで
あたためられた
川や海の水が
水蒸気になって雲になる
地上に降った雨は
地中に浸み込みながら
川へゆっくり流れる
集められた水が川から海へ流れる

わたしにできることは…

「健全な水循環をとりもどす」ためには、わたしたちの生活と水との関わりを正しく理解して、自ら行動することが大切です。

参加してみませんか？

わたしたちの身近な水辺（川・海など）では、みなさんが参加できる水質調査や生き物調査、川のゴミ拾いなどいろんなイベントがありますので、参加してみませんか？

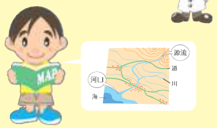
水循環再生地域協議会でも6月5日（環境の日）の前後一週間を中心に身近な水辺を調べる「流域モニタリング一斉調査」を行っています。

川の生き物調査

川のゴミ拾い

調べて考えてみよう

身近な水辺（川・海など）に行くと「なぜ、水が汚いのか？」、「なぜ、魚が少ないのか？」、「わたしたちの飲んでいる水はどこからきて、どこに行くのか？」など、いろんな疑問が出てきます。調べて考えてみましょう！



行動しよう

健全な水循環をとりもどし、きれいで魚がいっぱい棲む川・海にするため、わたしたちに出来ることが分かったら、出来ることから１つ１つ行動していきましょう！

必要以上の洗剤や有害な化学物質を流さないようにしましょう。

栄養分の高い米のとぎ汁は排水口に捨ててしまわず、植物の水やりなどに利用しましょう。

お風呂の残り湯を洗濯に使うなど、節水に心がけましょう。。

尾張地域
西三河地域
東三河地域
水循環再生地域協議会

●事務局：愛知県環境部水地盤環境課
電話　052-954-6220(ダイヤルイン)　FAX　052-961-4025
ホームページ　http://www.pref.aichi.jp/kankyo/mizu-ka/index.html